

平成29年度「社会と情報」

テーマ探究【実験系】自己評価表(ルーブリック)

1年 組 番 氏名	担当教員
所属分野(物・化・生・地) 班番号	テーマ

研究過程	評価の観点	段階1	→	段階2	→	段階3	→	段階4 (2年生以降の目標)	中間発表 自己評価	自己評価
A. テーマ設定	①テーマに関する知識をよく学習し、整理しているか。 ②明らかにすべき事柄(目的)が明確か。 ③検証可能で具体的な計画が設定されているか。	テーマに関して知識・情報を整理し、研究の方向性を決めた。		知識の学習や予備実験等を踏まえて、目的を設定した。 ただし、目的に曖昧さがあり、検証できるかどうかにも不確かなどところがある。		知識の学習や予備実験等を踏まえて、検証可能な目的を明確に設定した。		周辺知識の十分な学習・整理と、予備実験等を踏まえて、学問的に意義があり、かつ検証可能な目的を明確に設定した。	段階数字() コメント	段階数字() コメント
B. 実験の実施 (データの取得)	①テーマに対して適切な方法で実験を行ったか。 ②結論を得るために必要な信頼性・再現性のあるデータを得たか。	実験を行うための装置等を準備し、その使い方を習得し、予備的なデータを得た。		実験を実施し、結論を導くためのデータを得た。 ただし、実験方法の適切性やデータの信頼性・再現性には不確かなどところがある。		実験をおおむね適切に実施し、結論を導くために必要な信頼性・再現性のあるデータを得た。		実験を適切・確実な方法で実施し、結論を導くために必要な信頼性・再現性のあるデータを十分に得た。	段階数字() コメント	段階数字() コメント
C. 考察と結論の 導出	①実験結果(データ)から結論に至る過程を論理的に考察し、説明したか。 ②結論に影響を与える様々な事柄に関して多角的に考察したか。 ③学習や議論を通じて、自身の考察を深めたか。	方法・結果(データ)を常識的な知識の範囲で考察した。		方法・結果(データ)を学習した知識を踏まえて考察し、結論を導いた。 考察内容に関して初歩的な議論をすることができた。		方法・結果(データ)を学習した知識を踏まえて多角的に考察し、妥当な結論に至った。 考察内容に関して的確に議論をすることができた。		研究全体に関して、学習した知識を踏まえて多角的に考察し、明確な結論に至った。 研究の意義・発展性を含めて、幅広く考察し、説明・議論することができた。	段階数字() コメント	段階数字() コメント
D. 発表	①ポスター等を的確に作成し、研究全体を過不足なく示したか。 ②口頭で分かりやすく説明できたか。 ③質問への答弁や討論が的確にできたか。	作成したポスターとともに、研究を発表した。		研究全体に関して、整理されたポスターを作成し、発表した。 基本的な質問に答弁できた。		研究全体に関して、よく整理された資料(ポスターや参考資料)を作成し、的確に発表した。 研究内容に関して討論することができた。		研究全体に関して、よく整理された資料を作成し、的確に発表した。 一般人から専門家までを相手に、研究内容やその意義に関して幅広く討論することができた。		段階数字() コメント

※必要に応じて「実験」を「観察」に読み替えて下さい。